



山内図書館事業報告書

令和7年度

有隣堂グループ°

Web サイト:
<https://yamauchi-lib.jp/>

Tel: 045 : 901-1225
 225-0011
 神奈川県横浜市青葉区あざみ野 2-3-2



マスコットキャラクター
 やまちゃん

目次

山内図書館の基本方針	3
1. 山内図書館の概要	3
2. 指定管理者	3
3. 山内図書館のコンセプト	4

横浜市図書館ビジョン	4
------------	---

令和7年度の事業報告	4
1. 令和7年度の運営目標と振り返り	4
2. 令和7年度の具体的な取組	7
(1) 利用者サービス	7
(2) 業務運営	12
(3) 職員育成	14
(4) 財務	14

決算（令和7年度収支報告書）	15
----------------	----

別紙1. 令和7年度山内図書館読書活動推進事業実施事業月別一覧

別紙2. 令和7年度山内図書館学校連携活動報告

別紙3. 令和7年度山内図書館建築・設備保守管理実施表

山内図書館の基本方針

1. 山内図書館の概要

施設名	横浜市山内図書館
所在地	横浜市青葉区あざみ野二丁目3番地の2
構造規模	鉄筋コンクリート造3階建 (図書館部分：2階) 地区センター併設(全体4,433.28㎡)
延床面積	2147.22㎡
付帯	駐車場(施設全体で12台、業務用3台、 身障者用1台)



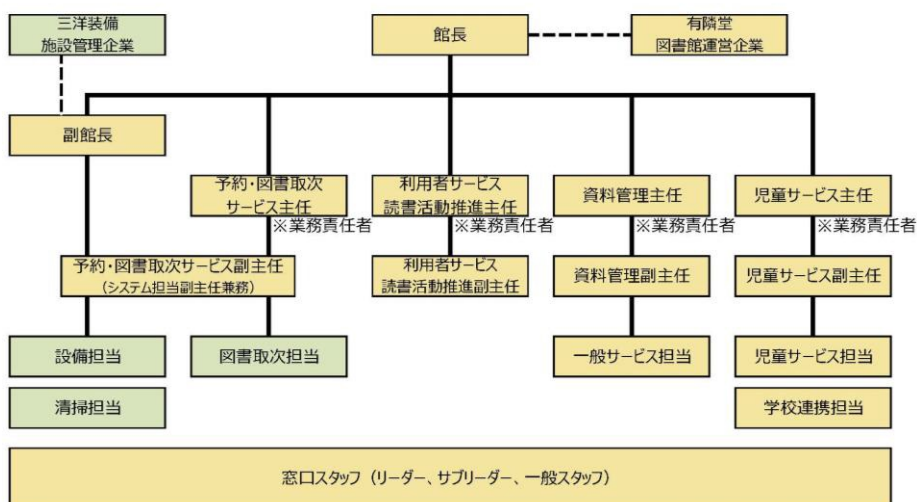
山内図書館は、昭和52(1977)年に横浜市内で2番目の地域館として開館しました。駅から徒歩3分の場所にあり、アクセスのよい便利な図書館です。蔵書数は中央図書館に次いで市内2番目(194,004冊典拠：『横浜市の図書館2025』)と規模の大きい図書館です。平成22(2010)年度から有隣堂グループを指定管理者とする管理運営が行われており、令和7(2025)年度から令和11(2029)年度の期間も引き続き有隣堂グループによる指定管理運営を行います。

2. 指定管理者

名称	有隣堂グループ
所在地	横浜市戸塚区品濃町881-16
代表団体	株式会社 有隣堂 代表取締役社長 松信健太郎
構成団体	三洋装備株式会社 代表取締役社長 菅生龍太郎
指定期間	令和7年4月1日～令和11年3月31日

指定管理者有隣堂グループは、「本」を専門とする株式会社有隣堂と「施設維持管理」を専門とする三洋装備株式会社で構成しています。有隣堂は、貸出返却・登録・レファレンスなどのカウンター業務を始め、資料の管理、予約業務、自主企画事業などの図書館運営全般を行っています。三洋装備は、山内地区センターとの共用部分を含む建物管理や日々の清掃業務および図書取次サービスを担当しています。

山内図書館運営組織図



3. 山内図書館のコンセプト

求心力をもつ図書館 —ここに集まりここから旅立つ—

「求心力」には2つの意味があります。一つ目は「①人を引き付ける魅力や多くの人を巻き込む力」です。私たちは快適な読書空間、多彩な課題を解決するための蔵書、魅力的なイベント、丁寧なサービスで、この力を発揮します。二つ目は「②物事を中心となって周囲を取りまとめる力」です。山内図書館が青葉区という一つのコミュニティの「核」となり、地域の皆様が集い、憩う場となるように努めます。

横浜市図書館ビジョン

「横浜市図書館ビジョン」の方針ごとに目標を定め、読書活動の推進に取り組みました。

方針1：未来を担う子どもたちのための図書館

目標：児童書の整備、体験型イベントの開催、学校との連携により「こどもまんなか社会」を実現します。

方針2：あらゆる市民のための図書館

目標：インクルーシブな図書館を目指した環境整備を行います。

方針3：まちとコミュニティのための図書館

目標：これまで培ったコミュニティとネットワークを最大限活用し、地域の方と一緒にまちの活性化を図ります。

方針4：利用しやすい図書館サービス

目標：デジタルツールの活用支援や託児サービスなどを行い、読書しやすい環境を整備します。

方針5：柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館

目標：新しいテクノロジーを取り入れ、柔軟な発想力を持ってチャレンジする司書を育成します。

令和7年度の事業報告

1. 運営目標と振り返り

指定管理第4期の初年度となる令和7年度は、横浜市図書館ビジョンを踏まえて、乳幼児から高齢者まで幅広い世代の人びとが、豊かな読書活動を行うことができるように山内図書館を運営しました（ビジョン基本方針への対応は次掲表に明示）。また10月に策定した「第三次青葉区民読書活動推進目標」を軸とし、青葉区役所や区内市民利用施設、ボランティアや市民と協働して読書活動を推進しました。人々の行動様式が新型コロナウイルス感染症流行前に戻ってきたことを受け、指定管理4期は新規事業も積極的に立ち上げていく予定です。令和7年度も新事業を4件立ち上げました。

視点	令和7年度運営目標	令和7年度管理指標・数値	目標値	実施状況
利用者サービス	(ア) 区内の図書貸出施設や団体、ボランティア等と連携して地域の読書活動を推進します 【図書館ビジョン基本方針3】	・地区センターまつりへの事業協力 ・乳幼児健診のおはなし会開催 ・修理ボランティアに活動の場を提供 ・読み聞かせボランティアに活動の場を提供 ・ボランティアの支援・養成講座開催 修理講座（初級とステップアップ）	1回 6回 50回 100回 各1回	1回 6回 63回 104回 各1回
	(イ) 読書活動推進のために、区内の読書活動拠点のネットワークを構築します 【図書館ビジョン基本方針3】	・読書関係団体交流会（青葉区役所との共催） ・図書取次事業の継続	1回 7施設	1回 7施設
	(ウ) 図書館の環境を整備・改善していきます 【図書館ビジョン基本方針2】 【図書館ビジョン基本方針3】	・館外スロープ ・イングリッシュガーデン ・オリーブ栽培	設置準備 継続 継続	3月に設置 8月に休止、 3月再開 継続
	(エ) インクルーシブな図書館を目指します 【図書館ビジョン基本方針2】	・りんごの棚の拡充 ・Dボックスの補強 ・対面朗読の実施 ・世界アルツハイマー月間事業 ・県立特別支援学校への協力 職業体験（高等部） 図書館見学（小中学部） ・スタッフ研修（人権研修） ・有料託児サービス実施	10冊 10冊 20回 2回 依頼に対応 1回 15回	19冊 10冊 61回 2回 2回 3回 1回 22回
	(オ) 市民の課題解決支援、読書活動の支援となる事業を展開します 【図書館ビジョン基本方針1】 【図書館ビジョン基本方針5】	・読書活動推進事業 ・新規事業	別紙1参照 5件	別紙1参照 4件
	(カ) レファレンス機能を充実させます 【図書館ビジョン基本方針5】	・レファレンス専門カウンター「やまうちよろず相談処」への職員配置 ・横浜市立図書館共通利用商用データベースの活用 ・山内図書館独自導入商用データベースの活用	常時 8種 5種	常時 8種 5種
	(キ) 地域資料を継続的に収集し、地域情報を発信します 【図書館ビジョン基本方針3】	・青葉区役所におけるパンフレットおよびリーフレットの収集 ・街あるきと郷土関連講座 ・地域の伝統芸能の見学講座 ・地産地消の移動販売の実施 ・横浜市ハマトレ実施	15回 3回 1回 10回 20回	15回 3回 1回 4回 22回

視点	令和7年度運営目標	令和7年度管理指標・数値	目標値	実施状況
ア 利用 者 サ ー ビ ス	(ク) 学校への支援を積極的にすすめます 【図書館ビジョン基本方針1】	・学校連携事業	別紙2参照	別紙2参照
	(ケ) 広報媒体を見直し、効率的に情報を発信します 【図書館ビジョン基本方針4】	・ホームページの更新 ・ブログとSNSを活用した読書活動推進事業の広報と報告 ・青葉区役所戸籍課への図書館作成チラシ提供 ・図書館だよりの発行	適宜 24回 600枚 ×12回 4回	適宜 ブログ33回 ×374回 600枚 ×12回 3回
イ 業 務 運 営	(ア) コンプライアンスの徹底を図ります	・コンプライアンス研修	1回	1回
	(イ) 防災への取り組みをすすめます	・山内地区センターと合同で行う災害時対応研修	2回	2回
	(ウ) 危機管理、安全衛生管理を徹底し、安心・安全な図書館をつくります	・防犯カメラの運用と図書館スタッフ、設備管理スタッフによる巡回 ・事件事故防止マニュアルの確認と有事初動の確認 ・危機対応研修	適宜 4月 1回	適宜 4月 1回
	(エ) 個人情報の保護を徹底的に実施し、遵守についてスタッフ全員に周知します	・横浜市の個人情報取扱いの確認 ・個人情報保護内部監査（有隣堂プライバシーマネジメントシステム定期監査） ・個人情報整備・保護点検 ・個人情報棚卸 ・個人情報保護研修	4月 6月 9月 1月 2回	4月 5月 10月 2月 3回
	(オ) 施設・設備の維持管理を適切に行います	・建築物・建築設備の維持管理 ・計画的な修繕	通年 通年	通年 通年
ウ 職 員 育 成	(ア) スタッフへの教育・研修を実施し、能力向上・意欲の維持向上に努めます 【図書館ビジョン基本方針5】	・接遇研修 ・人権研修 ・アルバイト向け修理基本講座 ・危機対応研修 ・情報セキュリティ研修	1回 1回 1回 1回 1回	1回 1回 1回 1回 1回
エ 財 務	(ア) 予算内に経費を抑え、効率的に管理します	・山内堂の売り上げ ※3期の実績に基づき算出	11万円	16.6万円

2. 具体的な取り組み

(1) 利用者サービス

(ア) 地域の読書活動推進

指定管理運営期間 3 期 15 年の中で培ってきた地域とのつながりを最大限活用し、地域の方と一緒に読書活動を推進しました。

- ・青葉区役所こども家庭支援課と読書活動推進事務局会議を月 1 回、年間 12 回開催しました。大型講演会、読書関係団体交流会を共催しました。重点取組として青葉区内の地区センター等 6 施設に「りんごの棚」を設置した際にブックリストを作成し、選書の支援を行いました。
- ・山内地区センターまつりのブックフェスタに参加し、読み聞かせを行いました。
- ・青葉区福祉保健センターの 1 歳半の乳幼児健診に出向き、ボランティアと共にわらべうた・手遊びをおりまぜながら、32 回おはなし会を開催しました。初めてのおはなし会を楽しんでくれる親子が多く、絵本に興味を持つきっかけを創出しています。
- ・修理ボランティアの 2 グループに活動の場を提供しました。2 グループ合計で、年間 63 回活動し、山内図書館の本を合計 101 冊修理しました。また、小中学校の図書室で修理にあたっている学校司書やボランティアからの相談を受けた際には、修理ボランティアの活動日に来館してもらい、ボランティアと一緒に実際に修理し、講師に相談するという形を取りました。
- ・修理ボランティアの養成講座を開催しました。講座終了後にも受講者が集まる機会を 8 回設定し、職員がアドバイスしながら、実際に簡易修理を行ってもらい、スキル向上を支援しました。令和 8 年度は、既存の修理ボランティアグループに加わり活動する予定です。
- ・読み聞かせボランティアに活動の場を提供しました。山内図書館で開催する各種おはなし会に出演してもらいました。定例のおはなし会には 107 回、のべ 296 人参加してもらいました。

※数字はボランティア参加のあった回数、カッコ内は参加ボランティア数

①定例のおはなし会	46 回（46 人）
②乳幼児健診おはなし会	26 回（26 人）
③おはなしごっこ 1 2	18 回（132 人）
④特別おはなし会	7 回（53 人）
⑤青空おはなし会	7 回（16 人）
⑥大人のためのおはなし会	3 回（23 人）

(イ) 読書活動拠点のネットワークを構築

- ・青葉区役所との共催による読書関係団体交流会を開催しました。2 部構成とし、第 1 部は童心社の宮原真理氏を迎え、紙芝居の魅力と演じ方についてお話しいただきました。第 2 部は交流会とし、「後進の育成およびスキルの継承」についてグループ内で話し合い、その内容を代表者が発表し、全体で共有しました。

(ウ) 図書館内の環境整備

図書館内外の美観を保つとともにインクルーシブな図書館をめざした環境整備を行いました。

- ・横浜市の改修工事があり、外壁の修繕と屋上の防水シートの張り替えが行われました。雨漏りが高頻度であった団体貸出室も防水の工事が入りました。
- ・外壁工事で足場を組んだことにより、イングリッシュガーデンの花づくりを中止しましたが、足場が外れた2月からガーデンの再開に向けて準備をすすめました。
- ・図書館正面側に、車いすやベビーカーで安全に入館できるようにスロープを設置しました。
- ・機械室の蛍光灯をLEDに交換しました。

(エ) インクルーシブな図書館

インクルーシブな図書館をめざした環境整備を行うとともに、あらゆる人のための蔵書構築をめざし、障がいのある人や認知症関連本を受け入れ、関連講座を開催しました。支援学校の児童・生徒の図書館見学や職業体験を受け入れました。

- ・前項(ウ)のスロープを設置したことにより、車いすやベビーカーで安全に入館できるようになりました。
- ・障がいのある人が利用しやすい本を集めた「りんごの棚」の本、および認知症関連の本を集めた「Dボックス」コーナーの本を引き続き購入しました。「りんごの棚」には、誰もが読書を楽しむことができるように工夫して作られたLLブックや点字図書など障がい者向けの本、および、障がいを理解・支援するために書かれた本を収集しました(19冊受け入れ)。
- ・認知症関連の本を集めたコーナー「Dボックス」の蔵書を補強しました(10冊購入)。
- ・対面朗読を61回実施しました。利用希望者からの申し込みを受け、音訳者をコーディネートしました。
- ・9月の「世界アルツハイマー月間」に、関連事業を開催しました。あざみ野ブックカフェで、東京都健康長寿医療センター研究所から鈴木宏幸氏をお招きし、認知症の最新情報のお話をいただきました。また、大場地域ケアプラザと協働で、フレイル(虚弱)と認知症予防を目的とした「あおばイキイキ元気塾」を4回連続で開催しました。それぞれの回のテーマは「社会参加」、「運動」、「栄養」、「口腔ケア」としました。
- ・神奈川県立あおば支援学校高等部から、2月に2回社会体験学習の受け入れをしました。医療的ケアの必要な生徒がいたために、担当教諭と連絡を密にとりながら打ち合わせを重ね、事前の準備を入念に行いました。
- ・神奈川県立あおば支援学校小学部肢体不自由部門の2年生と3年生の図書館見学を、7月に受け入れました。当日のプログラムでは、司書によるおはなし会や本の貸出体験も行い好評でした。
- ・神奈川県立麻生支援学校小学部の図書館見学を10月に2回受け入れました。当日のプログラムは、司書によるおはなし会と館内利用でした。初めて学校以外の図書館を利用したという児童が、「この見学の後に家の近くの公共図書館を利用してみました」という声を寄せてくれました。

- ・全職員およびアルバイトスタッフを対象とした人権研修を 11 月に開催しました。性的マイノリティの支援団体 SHIP から講師を招き、性的マイノリティに関する基本的人権について話をうかがいました。図書館の LGBTQ+ 資料を充実させることの必要性、サービスを提供する上で性別を決めつける発言をしていないかといった気づきを得ることができました。
- ・有料の託児サービス「やまちゃん広場」を開催しました。月 2 回のペースで開催を予定しましたが、体調不良によるキャンセルがあり、開催しなかった回もあります。計 22 回開催し、キャンセルを除く延べ利用人数は 45 人となっています。ベビーカーを押しての利用がためられる、ゆっくり本をみることができないといった声を受け、誰もが利用しやすい図書館という観点から開催しています。

(オ) 課題解決・読書活動支援の展開

別紙 1 のとおり読書活動推進事業を実施し、市民の課題解決を図るとともに、読書活動を推進しました。特に子どもたちを対象とした事業に注力し、子どもたちの世界を広げるきっかけをつくりました。

- ・新規事業として、令和 7 年度は、以下の事業を起ち上げました。

① 中高生のための館内閲覧専用のマンガの設置

11 月と 2 月に 2 回、小・中・高校生を対象に「マンガ読みほうだい」と題して開催しました。マンガ関連の賞の受賞作や映像化された作品、ロングセラーなどを中心に選定したマンガ 100 タイトルの 1 巻目を収集し、やまちゃんおはなしの部屋で自由に読んでもらえるよう準備しました。2 日連続で朝から来館する参加者が複数おり、楽しんでもらえたようです。令和 7 年度は継続的な開催の前段階として開催しており、来年度以降、開催方法の工夫を重ねていきます。

② おしごとチャレンジ

子どもが仕事に対して新たな知見を得る機会を創出しました。令和 7 年度は、日頃接する機会が少ない職人や研究者の話を直接聞き、その技術を体験できるようにしました。「職人」横浜マイスターである建具職人を講師に招き、仕事をしていく喜びや誇り、技能を習得することの難しさなどを話していただきました。実際に組子を作ってみました。「研究者」企業の商品開発に関わる方を講師に招き、味覚を使ったマーケティング、嗅覚を使った識別を体験し、ルームスプレーを調合しました。

③ 図書館で「おためし」の会

令和 7 年度は「椅子」をテーマとし、「読書のための姿勢術」という題目で開催しました。読書の正しい姿勢を人間工学会と協力してパネル展示で紹介しました。人間工学会員が立ち会い、正しく座れているか鏡を見ながら確認しました。また、正しい読書姿勢をサポートする椅子を 2 企業の協力で 5 脚設置し、自由に座ってもらいました。アンケートには、「椅子を並べて座りくらべするというイベントは初めて、ユニークな企画」という声があがりました。

④パパとじいじのおはなし会

山内図書館では、土曜・日曜日にお父さんが子どもに読み聞かせをしている姿をよく目にします。お父さんから読み聞かせの相談を受けることがあったことから、秋の統一キャンペーンの一環として男性向けに読み聞かせ講座を開催しました。2回連続講座とし、前編は読みかきのデモンストレーション、絵本の持ち方、めくり方、選び方の講義を行いました。後編は自分の子どもや家族に招待状を送っておはなし会に招待し、講座参加者による30分のおはなし会を行いました。

- ・令和7年度は戦後80年・昭和100年であったことから、「昭和100年」と題した展示を行いました。広島原爆投下等のパネルを通して、戦争・平和の尊さを学ぶ機会をつくりました。この展示をとおして「戦争を私たちは忘れない。」というメッセージを発信しました。
- ・子ども向けの講座を開催し、子どもたちの「知りたい」、「創りたい」を引き出し、知識の窓を開きました。夏休みには、児童を対象とした下記の講座を開催しました。

①わくわく科学教室「ミニ水族館をつくろう」

区内の化学系企業と連携して、水に強いという合成紙ユポの特性を利用して、ミニ水族館をつくりました。

②わくわく科学教室「タネの旅」

植物のタネの実物を見比べ、タネが運ばれる方法について実験し、タネの標本を作成しました。

③おはなしを書こう！ショートショート講座

ショートショート作家・田丸雅智氏の創作ワークシートに則り、アイデア出しからまとめまでを学び、実際にショートショート作品を1作書きました。

④小学生いちにち図書館員

図書館の分類を学び、図書館業務を体験しました。

- ・定例のおはなし会に加えて、春・夏・秋に特別おはなし会、冬におはなしフェスティバルを開催し、子どもたちに図書館への来館を促しました。
- ・青葉区こども家庭支援課と協力して大型講演会を開催し、図書館未利用者へ図書館利用を働きかける機会を創出しました。令和7年度は、歌人の木下龍也氏を迎え、短歌の魅力を語ってもらうとともに、参加者から募集したお題の中から3首、新しい歌を披露してもらいました。SNSで短歌を楽しんでいる人たちに、短歌のブックリストを提供し、また実際の図書館の短歌の蔵書を見てもらうことができました。
- ・夜間開館時間に青葉区内の紅茶輸入会社から提供された紅茶を飲みながら話を聞いたり、ワークショップを行う「あざみ野ブックカフェ」を開催しました。題目は以下の通りです。

①知って得する横浜野菜

②認知症を正しく理解しよう

③哲学カフェに行ってみよう！

(カ) レファレンス機能の充実

レファレンスを受ける体制やツールを整備し、利用者の「知りたい」という声に応えられるようにしました。

- ・レファレンスカウンター「レファレンス専用デスク・やまうちよろず相談処」に職員が常駐し、市民の課題解決を支援しました。
- ・令和7年度は22,640件のレファレンスを受け付けました。内訳は所蔵調査が17,107件、事項調査が5,533件となっています。
- ・横浜市立図書館共通で利用する商用データベースおよび国立国会図書館デジタル化資料送信サービスをレファレンスに活用しました。各々のデータベースの変更等を速やかに把握し、マニュアル等の差し替えを行った上で、職員会議で変更点を共有し、最新の状態で利用者に提供できるように研さんしました。
- ・以下の山内図書館独自契約の商用データベースを継続提供しました。
 - ①日経テレコン2 1
 - ②朝日新聞クロスサーチ
 - ③ヨミダス歴史館
 - ④官報情報検索サービス
 - ⑤ルーラル電子図書館（農文協）

(キ) 地域資料の継続的収集と地域情報の発信

市民、団体、企業等がもつ情報・知識を集め、協働・共創により地域の魅力を引き出し、発信することに努めました。

- ・青葉区役所に出向いて、行政資料やパンフレット、リーフレットなどを収集しました。集めた資料は、精査の上、地域資料として登録しました。
- ・地域の方から寄贈いただいた郷土資料を受け入れし、利用者が手にとることができるようにしました。
- ・郷土史を学びながら「街歩き」を楽しむ「郷土を知る講座」を開催しました。10月には、神奈川県が無形文化財に指定されている伝統芸能「牛込の獅子舞」を見学する講座を開催しました。青葉区内の紙芝居ボランティアが、郷土のオリジナル紙芝居「牛込の獅子舞」を講座内で口演しました。
- ・青葉区の写真を収集してデジタル化し閲覧できるように構築した「青葉区風景写真データベース」を提供しました。
- ・地産地消をコンセプトとする移動販売「萬駄屋」は月1回を基本として開催しました。地元でとれる野菜や生産物を知ってもらう情報提供の場となっています。
- ・月2回を基本として、ハマトレを図書館の前庭、天候不順のときはやまちゃんおはなしの部屋で開催しました。

※ハマトレとは、加齢に伴う筋力の低下や骨・関節の疾患などの運動器の障がいが起こり、「立つ・座る・歩く」などの移動能力が低下する「ロコモティブシンドローム」を予防するため、

横浜市が高齢者の「歩き」に着目して開発した「家の中でも簡単にできる」トレーニングです。

(ク) 学校への支援：年間報告は別紙 2 参照

- ・図書館見学や職業体験などの受入、学校に出向いての相談受付、教職員貸出、レファレンス受付といった学校図書館や教職員への支援を行いました。
- ・6月の学校司書研修の際、学校支援プログラムの内容を詳しく紹介し、各学校への周知を図りました。
- ・学校図書館の環境整備相談の依頼に対して、学校を訪問して対応しました。
- ・中学生の職業体験、高校生のインターンシップ、大学生の図書館実習などのプログラムに、以下の読書活動推進ツールを組み込み、読書の楽しさを共有しました。
 - ①ビブリオバトル（本の紹介コミュニケーションゲーム）
 - ②Life with Reading（慶應義塾大学井庭崇研究室と株式会社有隣堂の共同開発ツール、「創造的読書」の考え方を言語化し 27 個の言葉にまとめたカード）
 - ③本の楽しみ方カードワークショップ（Life with Reading の子ども版。ワークショップの形態が多数あり、参加人数や学年に応じて新しい形態を取り入れていくことが可能）

(ケ) 広報活動

- ・ホームページを適宜更新しました。令和 5 年度に WordPress でホームページを再構築したことから、担当チームが迅速に「お知らせ」を更新できるようになりました。
- ・ブログと SNS を活用して事業の広報を行いました。ホームページとの差別化を図り、集客につながる内容としました。ブログは月末に翌月の事業予定をまとめて紹介し、月半ばには前月の事業の報告を掲載しました。また、ティーンズ向けのおすすめ本を月 1 回掲載しました。定期的に図書館のニュースや事業の様子等を X に投稿しました。講演会の際には演者の再投稿もあり、講演会の情報が拡散されました。
- ・青葉区役所戸籍課協力の下、青葉区への転入者に図書館サービスのチラシを配布し、山内図書館のサービスを周知することができました。
- ・紙媒体の広報として『図書館だより』を年 3 回発行しました。令和 7 年度は初回の発行が春から初夏にずれこみ、年 4 回発行の予定が 3 回となりました。

(2) 業務運営

(ア) コンプライアンスの徹底

- ・法令遵守と倫理の徹底を図ります。職員は、有隣堂のエシックスカードを常時携帯して行動しました。また、年度当初 4 月に企業行動指針を基にしたコンプライアンス研修を実施しました。
- ・山内図書館の運営情報（「事業計画書」「事業報告書」「利用者フォーラム議事録」「セルフモニタリング評価書」）をホームページ上で公開しました。

(イ) 防災への取り組み

- ・併設の山内地区センターと合同で災害時対応研修を年 2 回実施しました。9 月に火事を想定した避難訓練を実施し、3 月に AED の使用訓練を実施しました。

(ウ) 危機管理、安全衛生管理の徹底

- ・職員会議を週 1 回開催し、図書館運営上の課題を話し合い改善しました。
- ・職員とアルバイトスタッフの代表で月 1 回ミーティングを行い、安全衛生を含めた課題を話し合い、改善に取り組みました。
- ・図書館の両入口付近、および児童コーナーに設置した防犯カメラを運用しました。
- ・施設管理者が館内外を巡回しました。また、職員は、カウンター業務が終了した際に館内を巡視しました。
- ・山内図書館、山内地区センターと施設管理者の 3 者ミーティングを年 4 回行い、危機管理の情報共有を行うとともに課題解決に向けた話し合いを行いました。令和 7 年度は大規模な外壁等改修工事が施行されたことから、建物や工事に関する情報を 3 者で共有しました。

(エ) 個人情報の適正管理

- ・横浜市個人情報の保護に関する条例及び有隣堂個人情報保護方針にもとづき個人情報を適正に管理しました。新入スタッフには個人情報保護に関する取扱いの確認を行いました。
- ・有隣堂プライバシーマネジメントシステム監査が行われました。個人情報を含む書類の保管状態及び廃棄状況は普段から徹底しており、監査では改善の指導はありませんでした。
- ・個人情報棚卸（リスクチェックとプロセス分析およびリスク対策）を行いました。
- ・スタッフ全員を対象に、個人情報取扱および情報セキュリティについてテストを行い、取り扱いについての確認研修を実施しました。令和 7 年度は Google フォームを活用した電子版テストを実施しています。

(オ) 適切な施設・設備管理

- ・建築物・建築設備ともに令和 7 年度山内図書館建築・設備の保守管理表に基づき点検を実施しました（別紙 3）。積極的な保守管理を行い、異常が発生する前に予防保全を心掛けました。清掃ロボットを導入し、DX 化による効率化を図りました。
- ・設備機器の優先順位をつけ、計画的な予防保全等修繕を実施しました。
- ・地震、台風、大雨等の自然災害発生時には、施設の損傷状況を確認して必要な対応をとるとともに、中央図書館企画運営課へ報告しました。
- ・清掃・環境衛生管理は、業務水準どおり適切に維持管理を行い、定期清掃では隔月でワックス掛けをし、美観を保ちました。
- ・8 月から 2 月にかけて、外壁修理と屋上の防水工事が施行されました。スムーズに工事が進むように建築局と施工業者に協力しました。

(3) 職員育成

- ・職員とアルバイトを対象とした下記研修を実施し、利用者対応の向上や情報セキュリティ・個人情報保護の理解、災害時の対応等を習得することができました。

実施月	研修テーマ	内 容
4 月	接客研修 コンプライアンス研修 個人情報保護研修	日常の接客対応の基本を学び、コンプライアンス、個人情報の取り扱いの確認をする
6 月	危機管理研修	施設に不審者が入ってきたときの対応方法を青葉警察署の警察官より学ぶ
7 月	情報セキュリティ研修	情報セキュリティ確認テスト
9 月	防災研修 (地区センターと合同)	地震・火災を想定し、避難訓練を行う 出勤職員の初動を確認、消火器の設置場所、使い方を確認
11 月	人権研修	多様性の尊重を性的マイノリティの支援 NPO・SHIP の理事長より学ぶ
3 月	AED 研修 (地区センターと合同)	消防署の指導による AED の取り扱い訓練、救急車到着までの対応を学ぶ

- ・職員が中央図書館、県立図書館、神奈川県図書館協会等主催の研修に 19 回参加し、それぞれの専門性を向上させました。
- ・有隣堂本部社員と館長が職員及びアルバイトの評価とヒアリングを行い、問題の解決を図り、モチベーションの向上につなげました。

(4) 財務

(ア) 予算内の経費執行と効率的な管理

- ・予算内に経費を抑え、効率的に管理しました。

(イ) その他

- ・山内堂は自主企画事業と連動した書籍の販売を積極的に行ったことで、目標の 150 パーセントの売上となりました。

決算（令和7年度収支報告書）

令和7年度 「横浜市山内図書館」 収支報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	197,011,000		197,011,000	201,869,000	△ 4,858,000	横浜市より（物価スライド補正額：2,875,000円、賃金水準スライド補正額：1,983,000円）
利用料金収入	0		0		0	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	0		0		0	
自主事業収入	110,000		110,000	220,895	△ 110,895	売店「山内堂」の売上
雑入	500,000		500,000	484,705	15,295	
自動販売機手数料等	500,000		500,000	484,705	15,295	
その他（ ）	0		0		0	
収入合計	197,621,000		197,621,000	202,574,600	△ 4,953,600	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	112,521,700		112,521,700	115,608,385	△ 3,086,685	
給与・賃金	96,591,700		96,591,700	99,365,941	△ 2,774,241	賃金水準スライド充当
社会保険料	9,910,000		9,910,000	9,931,295	△ 21,295	
通勤手当	5,190,000		5,190,000	5,116,149	73,851	
健康診断費	450,000		450,000	545,000	△ 95,000	
福利厚生費	380,000		380,000	650,000	△ 270,000	
事務費	4,950,300		4,950,300	4,324,769	625,531	
旅費	130,000		130,000	136,952	△ 6,952	
消耗品費	1,600,000		1,600,000	1,227,895	372,105	
通信費	500,000		500,000	517,915	△ 17,915	
使用料及び賃借料	15,000		15,000	11,511	3,489	売店「山内堂」目的外利用料金及びはかり検査代金
備品購入費	200,000		200,000	0	200,000	
雑誌・新聞購入費	1,700,000		1,700,000	1,749,490	△ 49,490	
施設賠償責任保険	120,000		120,000	120,200	△ 200	
職員等研修費	50,000		50,000	53,000	△ 3,000	
振込手数料	0		0	0	0	
リース料	100,000		100,000	0	100,000	
手数料（ごみ処理費）	535,300		535,300	507,806	27,494	
事業費	5,258,400		5,258,400	5,920,695	△ 662,295	
自主事業費	4,300,000		4,300,000	4,962,375	△ 662,375	商用データベース、座席予約システム料他
自主事業費（図書取次サービス）	958,400		958,400	958,320	80	
管理費	41,710,600		41,710,600	40,572,974	1,137,626	
光熱水費	22,500,000		22,500,000	21,895,898	604,102	
電気料金	13,000,000		13,000,000	12,173,333	826,667	
ガス料金	5,500,000		5,500,000	4,738,884	761,116	
水道料金	4,000,000		4,000,000	4,983,681	△ 983,681	
清掃費	5,387,000		5,387,000	5,386,920	80	
修繕費	1,778,000		1,778,000	1,575,156	202,844	
機械警備費	976,800		976,800	976,800	0	
設備保全費	6,868,800		6,868,800	6,777,100	91,700	
空調衛生設備保守	2,093,300		2,093,300	2,093,300	0	
消防設備保守	396,000		396,000	396,000	0	
電気設備保守	1,237,500		1,237,500	1,237,500	0	
害虫駆除清掃保守	165,000		165,000	165,000	0	
建築設備保全費	2,277,000		2,277,000	2,277,000	0	
その他保全費	700,000		700,000	608,300	91,700	飲料水・ウォータークーラー水質検査、植栽剪定・草刈、煤煙測定業務
共益費	4,200,000		4,200,000	3,961,100	238,900	LED交換・スロープ工事等
公租公課	10,180,000		10,180,000	11,000,000	△ 820,000	
事務経費	23,000,000		23,000,000	24,500,000	△ 1,500,000	本部支援費（人件費、システム経費等）、研修教材費
支出合計	197,621,000		197,621,000	201,926,823	△ 4,305,823	
差引				647,777		

【注記】

修繕費の当初予算額及び予算現額に誤りがあり、修正しました。

（修正前）1,600,000

（修正後）1,778,000

管理費の合計、支出合計及び全体の差引には、修正はありません。

令和7年度山内図書館読書活動推進事業実施事業月別一覧

月	事業名	参加人数			連携先
		大人	子ども	合計	
4月	企画展示「はるがきた！」(GREEN×EXPO関連)3/18～4/20	-	-	-	青葉区区政推進課
	企画展示「新しいこと、本といっしょに」4/22～5/18	-	-	-	
	パネル展示「みんなで知ろう発達障害」4/1～4/8	-	-	-	教育委員会事務局特別支援教育課
5月	春の特別おはなし会 英語のおはなし会	-	8	8	シェアリング・ケアリング・カルチャー
	大人の倶楽部活動ジブンプ①「La vida con vino ワインのある暮らし」	10	-	10	星野 マチ子氏、常田 諭史氏、三浦 ユーク氏(有限会社グランジャポン)
	パネル展示「水道について考えよう！横浜の水道の今とこれから」5/20～6/9	-	-	-	水道局広報課
6月	パネル展示「親子で学ぼう食中毒」(区連携)6/17～6/30	-	-	-	青葉区生活衛生課
	あざみ野ブックカフェ①「知って得する横浜野菜」	6	0	6	宮地 香子氏(野菜ソムリエプロ・はまふんどコンシェルジュ)
	大人のためのおはなし会①「すべて世はこともなし」	26	-	26	虹の部屋
	図書館ボランティア養成講座「修理」(修理ボランティア講習会)(6回)	21	-	21	
7月	パネル展示「笑顔で住み続けられるまちづくり」7/1～7/21 ※ハザードマップ	-	-	-	建築局建築防災課
	企画展示「夏休み よんでみようこんな本」7/23～8/31	-	-	-	
	企画展示「ヨコハマノティーンズ」7/23～8/31	-	-	-	
	わくわく科学教室 ミニ水族館を作ろう	-	15	15	小野 祐樹氏(三菱ケミカル株式会社)
	書きたい人のショートショート講座 TEENS	1	9	10	田丸 雅智氏(ショートショート作家)
	わくわく科学教室 タネの旅	-	9	9	沼里 和幸氏(NPO法人楽知ん研究所会員 仮説実験授業研究会会員)
8月	図書館ボランティア体験 絵本の読み聞かせをしてみよう(1回4人×2回)	-	8	8	
	自習スペース貸します(8回)	-	66	66	
	夏の特別おはなし会	124	69	193	紙芝居グループほっこりワクワク、青空おはなし会、ほかびかおはなし会
	一日図書館員(2回)	-	17	17	
9月	パネル展示「読書バリアフリー みる、さわる、きく」9/1～9/15	-	-	-	教育委員会事務局 生涯学習文化財課
	企画展示「メディア化作品あつまりました」9/17～9/30	-	-	-	
	〈外部連携事業〉あおばイキイキ!!元氣塾(4回)	64	-	64	大場地域ケアプラザ
	あざみ野ブックカフェ②「認知症を正しく理解しよう！」	17	0	17	鈴木 宏幸氏(東京都健康長寿医療センター研究所)
10月	パネル展示「横浜サイン展 巡回展」10/1～10/19	-	-	-	都市整備局景観調整課
	パネル展示 図書館でフレイル予防 10/27～11/3	-	-	-	青葉区高齢・障害支援課
	郷土を知る講座① 牛込の獅子舞を見にいこう	8	0	8	宮澤 高広氏、貞廣 典子氏
	大人のためのおはなし会②「ふりかえれば…」	21	-	21	虹の部屋
	秋の特別おはなし会 英語のおはなし会	-	11	11	シェアリング・ケアリング・カルチャー(SCC)
	図書館でフレイル予防 測定会&健康相談	30	-	30	青葉区高齢・障害支援課、新田智裕氏(理学療法士)

11月	パネル展示「こどもの虐待防止月間」(区連携)	-	-	-	青葉区こども家庭支援課
	パネル展示「がん検診・特定健診」(区連携)	-	-	-	青葉区福祉保健課
	【新規】マンガ読みほうだい(3日合計)	17	40	57	
	書きたい！人のショートショート講座	15	0	15	田丸 雅智氏(ショートショート作家)
	eスポーツ体験(2回)	14	0	14	青葉区高齢・障害支援課、川崎 陽一氏(株式会社プレイケア)
	大人の倶楽部活動ジブンプ②「あかぬけメイク」	13	-	13	植松 美由紀氏
	【新規】読み聞かせ講座 パパとじいじのおはなし会(1回3人、全2回)	6	-	6	
	読書のための姿勢術	46	12	58	斉藤進氏(人間工学会)、服部英治氏(コクヨマーケティング)
12月	パネル展示「性感染症について知ろう！」	-	-	-	青葉区福祉保健課
	パネル展示「80／100」12/16～1/12	-	-	-	国際局政策総務課
	青葉おはなしフェスティバル／冬の特別おはなし会	365	128	493	青葉おはなしフェスティバル実行委員会、山内地区センター
1月	企画展示「いっしょに読む、いっしょに育つ」	-	-	-	
	学校図書館活動展示 1/14～2/15	-	-	-	美しが丘東小学校・あざみ野中学校・鶴志田中学校・すすき野中学校・奈良中学校・山内中学校・谷本中学校
	郷土を知る講座(街歩き編)「幻の城と慈愛の寺、恩田の戦争遺跡を歩く」	13	0	13	宮澤 高広氏
	eスポーツ体験 2nd Stage	10	2	12	青葉区高齢・障害支援課
	あざみ野ブックカフェ③「哲学カフェに行ってみよう！」	15	0	15	月子氏(カフェ・ソシエテ主宰、哲学カフェ・ファシリテーター)
	マンガ読みほうだい(2日合計)1/31,2/1	20	41	61	
2月	企画展示「どこコレ？inたまプラーザ」2/16～3/1	-	-	-	どこコレ？In たまプラーザ運営事務局
	大人の倶楽部活動ジブンプ③「腸活」	13	-	13	金子 隼士氏
	大人のためのおはなし会③「めぐりあう」	19	-	19	虹の部屋
	追悼展示「松原秀行さんを偲んで」	-	-	-	
3月	パネル展示「ジェンダー平等の歩みをつなぐ、横浜市民の声 北京+30」3/2～3/15	-	-	-	男女共同参画センター
	企画展示「はるがきた！GREEN×EXPO2027」3/17～4/19	-	-	-	青葉区区政推進課
	青葉区読書活動推進事業「木下龍也氏講演会 あなたのために短歌をつくるということ」	151	0	151	木下龍也氏(歌人)
	大人のための調べ方講座「介護保険の使い方と費用について」	13	-	13	横浜市大場地域ケアプラザ主任 ケアマネージャー 村岡 真由美氏
	【新規】おしごとチャレンジ！研究者(化学/食品)	7	7	14	三菱ケミカル株式会社 林田 裕美氏
	おしごとチャレンジ！建具職人	8	8	16	経済局雇用労働課、野口 正男氏(建具職人・第29期横浜マイスター)
参加人数合計		1073	450	1523	

定例おはなし会（定例おはなし会、親子おはなし会、福祉保健センター連携事業等）

事業名・団体名	参加人数			日時
	大人	子ども	合計	
空とぶじゅうたん絵本と語り水曜日のおはなし会 （対象：ひとりでおはなしを聞ける子）※12月から対象を左記に変更 全11回	33	45	78	毎月第2水曜日 15:30～16:00
空とぶじゅうたん絵本と語り金曜日の親子おはなし会 （対象：0歳から2歳の子どもと保護者）※12月から対象を左記に変更 全24回	101	108	209	毎月第2・4金曜日 10:30～10:50
空とぶじゅうたん絵本と語り日曜日のおはなし会 （対象：ひとりでおはなしを聞ける子） 全11回	114	146	260	毎月第4日曜日 10:30～11:00
青葉区乳幼児健診出張おはなし会 全32回	308	280	588	1歳6か月健診時
参加人数合計	556	579	1135	

その他の定例的な事業

事業名	参加人数			日時
	大人	子ども	合計	
子どもを育てるあそびとおはなし！“おはなしごっこ012” ※共催：NP0語り手たちの会“おはなしごっこ012”チームよこはま （対象：0.1.2歳児と保護者） 全18回 前期は6回、後期は6回×2（1日2回）	85	88	173	毎月第4木曜日 10:30～11:45
図書館deマルシェ／青空おはなし会 全8回（改修工事期間は館内で実施）	18	29	47	第4水曜日 10:30～11:00
図書館deマルシェ／よりみちHIROBA 全3回（改修工事のため9月から2月は休止）	15	0	15	第4水曜日 11:15～13:30
図書館でハマトレ 全22回	145	-	145	毎月第1・3木曜日 10:00～11:00
有料託児サービスやまちゃんひろば 全22回	35	45	80	毎月第3土・第4日曜日 10:00～12:00 2025年11月から不定期で土曜開催。 ※申込がある場合のみ
テーマ展示 （対象：一般、児童） 全12回×3テーマ	-	-	-	毎月 一般は月1テーマ・児童は月2テーマ
Happy Birthday 今月生まれの人の本 （対象：一般） 全12回	-	-	-	毎月
参加人数合計	298	162	460	

令和7年度山内図書館学校連携活動報告

<令和7年度の特徴的活動>

・児童生徒向けのサービスについて

図書館見学やまちたんけんの依頼がありました。小学校3校のまちたんけんの受け入れをしました。特別支援学校肢体不自由部門の小学部1年生から3年生の図書館見学の依頼があり、受け入れました。

中学校3校、特別支援学校高等部1校の職業体験の依頼があり、5回実施しました。

図書委員会の活動支援として、中学校を訪問し、3回「Life with Reading」のワークショップを行いました。青葉区外の中学校からも依頼があり、調整を行い、訪問に伺いました。

・研修や研究会への講師派遣

青葉区学校司書研修では、図書館の「りんごの棚」の現況を伝え、その他、開催校の学校図書館の取り組み状況の発表、意見交換のグループワークを行いました。環境整備相談は前年度より依頼は減りましたが、りんごの棚設置に意欲的な学校もあり、りんごの棚への選書の相談も2回ありました。

また区の中学校図書館研究会から依頼があり、当館で研究会を開催しました。学校図書館と公共図書館の連携について説明しました。書架の見学や本の展示コーナーなど図書館の様子を見てもらいました。中学校の学校図書館における読書推進活動の取り組みを確認できる機会となりました。

・学校図書館活動展示

山内図書館の展示コーナーにおいて、区内小中学校の学校図書館活動に関連した児童生徒の作品展示を毎年実施しています。今年度は、小学校1校、中学校6校の協力があり、学校図書館と市民との交流の場を展示を通して提供しました。本の紹介を採り上げる学校が多かったですが、紹介された本も一緒に展示したことで、小学生中学生が読んでいる図書に興味を持たれ、図書の貸出にもつながりました。

	事業名	主な内容	学年	学校数	件数	人数 (延べ数)
児童・生徒向けサービス	調べ学習	館内見学、質問への回答	小学生	0	0	0
	図書館見学	神奈川県立支援学校小学部児童の図書館利用体験 (館内案内、おはなし会、館内自由見学)	小学部	2	3	29
	図書館インタビュー	蔵書数、本の並べ方の工夫、マスコットキャラクターの由来、バリアフリーについて、等	小学生3年生から5年生	3	3	22
	まちたんけん	館内見学、質問への回答	小学2年生	3	16	301
	ブックトーク	訪問・ブックトークの実施	小学6年生	1	1	129
	職業体験 インターンシップ	中学生／高校生:オリエンテーション、予約在庫確保、返却カウンター、書架整理、本の紹介ポップ作り、図書館イベントのお手伝い等	中学2年生	3	3	7
			高校1年生	1	3	3
			支援学校 高等部	1	2	8
	職業インタビュー・職業研修	職業講話(訪問含む):公共図書館の職業紹介	中学1年生	1	2	38
	その他(ワークショップ)他	・「Life with Reading」(読書の秘訣カード)のワークショップ ・ビブリオバトルのワークショップ	中学校	3	3	81
		・児童制作本の図書館蔵書としての受入	小学校	1	1	2
	児童・生徒作品展示／学校図書館 展示※事業報告あり 場所:山内図書館 展示コーナー・児童 書架展示コーナー・ ティーンズ展示 コーナー	・図書委員会活動紹介:おすすめ本のPOP／図書委員会だより ・授業で作成した成果物、おはなし会の様子等	中学校	8	8	—
		・授業で作成した成果物(本のPOPやオリジナルのお話)	小学校	3	3	—

	事業名	主な内容	学年	学校数	件数	人数
教職員向け	学校図書館環境整備相談	除籍相談、蔵書選定の参考情報の提供(訪問・来館)	小学校	4	4	5
	教職員向け研修	区学校司書研修会(選定について、グループワーク)	小・中学校	42	3	62
	連携相談	図書館運営や資料提供の相談、自主企画事業参加について、他	小・中・支援学校	79	25	80
	レファレンス	教職員、学校司書からの教職員向け貸出の本の選定についての相談	小学校	13	32	25
			中学校	4	9	12
	その他	校長会での事業広報(小学校は配布のみ)	小・中学校	42	2	12
		利用環境や水濡れ資料の取扱方法に関する相談	小・中学校	2	2	2
	教職員向け貸出 通常／セット	国語授業の平行読書や調べ学習のための本 ＜主なテーマ＞伝記／ロボット／つぼみ／自動車／昔話(日本と外国)／防災について／修学旅行／読み聞かせ絵本／鳥や動物の図鑑／戦争と平和／新美南吉の本／椋鳩十の本／詩／ことわざ／国際交流、等(単位は冊数)	小学校	20	174	3454
		＜主なテーマ＞ディベートのためのテーマ別資料／修学旅行・郷土資料／季語／短歌、等(単位は冊数)	中学校	4	12	275
		テーマ別セットの本を貸出(単位は冊数)	小学校	3	4	120
保護者・ボランティア向け	読み聞かせ講座	訪問読み聞かせ講座	小学校	1	1	15
	図書修理講座	訪問修理講座	小学校	0	0	0
	その他、活動相談・連携事業	山内図書館修理ボランティアによる修理来館相談	小・中学校	0	0	0

※読書活動推進事業として報告している企画。

2025年度山内図書館 建築・設備保守管理実施表

別紙3

項目	業 務	法令	内 容	再委託会社	契約締結方式	年回数	実施月	2025年									2026年			
								4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
電気・機械設備	電気年次点検	○	全館停電作業	関東電気保安協会	随意契約	1	3月												●16	
	電気設備点検	○	電気工作物点検	関東電気保安協会	随意契約	6	隔月	●16		●4		●22		●24		●23		●17		
	非常用発電機保守点検	○	各機能点検	第一テクノ	随意契約	2	6・12月			●16						●15				
	蓄電池設備点検	○	各機能点検	ミヤケ電池	随意契約	2	4・10月	●8						●6						
	熱源機器保守点検(発生機他)		各機能点検	パナソニック	随意契約	4	4.8.11.2月	●冷房切替 17.18				●中間点検 18			●暖房切替 6.7			●中間点検 9		
	空調設備保守点検		各機能点検	相模設備	随意契約	2	5・11月		●19						●17					
	放送設備点検 (一般放送)		各機能点検	三洋装備		2	6・12月			●16						●15				
	ガス監視装置点検 (消防設備内)	○	各機能点検	ハマ防災	随意契約	2	6・12月			●16						●15				
	電話交換機点検		各機能点検	三洋装備 ○		12	毎月	●17	●17	●20	●19	●29	●27	●17	●28	●24	●25	●24	●30	
	冷却塔他管理	○	各機能点検	市田化学 ○ 三洋装備 □ パナソニック△	随意契約	8	4～11月	●C・S23 ■wx17 ▲洗浄17	■wx19	●S11 ■wx16	■wx22	●S4 ■wx18	■wx16	■wx20	●C14					S・薬補・C薬品洗浄 wx冷却水交換 △洗浄
衛生管理	建築設備維持管理(内外部)		建築設備等点検	三洋装備		12	毎月	●23	●31	●21	●26	●30	●29	●29	●29	●27	●4	●21	●21	
	ばい煙測定業務		排ガス測定	富士産業	随意契約	2	9・2月						●18					●20		
	植栽剪定・草刈		除草工	植茂園	随意契約	2	6・8月			●16		●18								
	受水槽・高架水槽清掃		タンク内洗浄	ジェクサ	随意契約	1	9月						●16							
	飲料水水質検査		○ 水質検査 28項目	総合環境分析	随意契約	1	9月						●17							
			○ 水質検査 11項目	総合環境分析	随意契約	1	3月												●17	
	冷水器水質検査		○ 水質検査 11項目	総合環境分析	随意契約	1	9月						●17							
	冷水器定期清掃 1.2階		△ 各機能点検	三洋装備		6	隔月	●21		●16		●18		●図14 ●地20		●15		●図24 ●地16		
	レジオネラ	○ 冷却塔	レジオネラ検査	市田化学	随意契約	3	6.8.11月			●w11		●w4			●w14					
		加湿機 PAC3			随意契約	2	12.1月									●w3	●w8			w採水
	空気環境測定		○ 定期点検	三洋装備		6	隔月	●17		●13		●15		●16		●12		●9		
	害虫駆除		○ 定期点検	シーアイシー	随意契約	12	毎月	●24	●22	●26	●24	●28	●25	●23	●27	●25	●22	●26	●26	
	排水槽清掃(グリストラップ)		○ 槽内洗浄	高城興業	随意契約	1	2月											●12		
	湧水槽清掃(雑排漕)		○ 槽内洗浄	高城興業	随意契約	2	8・2月					●7						●12		
建物等	蓄熱槽清掃		槽内洗浄	高城興業	随意契約	1	10月							●27						
	建築物衛生管理 (水回り)		○ 衛生器具等点検	三洋装備		12	毎月	●2	●1	●15	●2	●2	●1	●3	●1	●1	●4	●2	●2	
	消防設備点検		○ 各機能点検	ハマ防災	随意契約	2	6・12月			●16						●15				次回 消防2027年1月提出
	昇降機点検		○ 各機能点検	日本エレベーター	随意契約	12	毎月	●21	●19	●16	●22	●18	●16	●20	●17	●15	●19	●16	●16	
	自動ドア点検		各機能点検	神奈川ナフコ	随意契約	4	5.8.11.2月		●19			●18			●17			●16		
	特殊建築物定期調査		○ 建築物定期点検	三洋装備		3年に1回	11月													次回2027年実施
	建築設備定期検査		○ 建築設備等の点検	三洋装備		1	11月								●17					
	防火設備点検		○ 各機能点検	ハマ防災	随意契約	1	12月									●15				
	定期清掃 {地区センター}		清掃・床洗浄 ヲックス	サポート アーク	随意契約	12	毎月	A●21	B●19	A●16	B●22	A●18	B●16	A●20	B●17	A●15	B●19	A●16	B●16	Aはサポートのみ Bはサポート/アーク
	定期清掃 {図書館}				随意契約	6	隔月		B●19		B●22		B●16		B●25		B●13		B●16	
清掃等	窓ガラス清掃		全館ガラス清掃	光陽興業	随意契約	2	9・3月						●16						●16	
	照明器具清掃		清掃	サポート	随意契約	1	11・12月								●図25	●地15				
	ブラインド清掃		清掃	サポート	随意契約	1	11・12月								●図25	●地15				
	日常清掃		清掃	三洋装備		毎日	毎日	●1～30	●1～31	●1～30	●1～31	●1～31	●1～30	●1～31	●1～30	●1～28	●4～31	●1～28	●1～31	
	機械警備		建物セキュリティ	京浜警備	随意契約	1	3月												●6	
	図書返却ポスト		各機能点検	伊藤伊	随意契約	1	1月										●24			

○印は法令適用、△印は横浜市健康福祉局の指導